

より良い職場づくり

個性とやりがいを育む、ワークとライフの充実

当社では長年「ワーク・ライフ・バランス」のあり方の最適化に取り組んでおり、現在ではその考え方を一歩進め、仕事の生産性を高めることでプライベートの時間が充実し、新たな視野が広がることでまた仕事に活かすことができる。このような「ワーク」と「ライフ」の充実をコンセプトにした働き方改革に取り組んでいます。



有給休暇連続5日取得制度

2018年より年1回、有給休暇の連続5日取得を義務づけました。ワークとライフの充実を社員個人が主体的に考えて行動することで、より高いレベルで生産性の向上を実現させると同時に、当該社員が休む日の業務を他のメンバーがカバーすることで一人ひとりの仕事の見える化を行い、業務の効率化や合理的なワークシェアリングにつながっています。

フレックスタイム制度

柔軟な働き方を進めるために当社ではフレックスタイム制度を導入しています。1カ月のあらかじめ定められた所定労働時間数の枠内で、各日の始業・終業時刻を自分で決めることができます。これにより仕事の生産性を高めながら家族や友人とより多くの時間を共有でき、心身の健康が育まれています。

カムバック制度

育児や家族の介護、配偶者の転勤などの事情によって退職した元社員や、キャリアアップのための学業・転職などで退職した元社員に再度活躍してもらえる機会を提供する「カムバック制度」があります。利用者には慣れ親しんだ会社で培った業務経験を活かせるメリットがあり、当社にとっては、退職後に得た新しいスキルや経験を加えた即戦力の人材を再雇用できるメリットがあります。

社員紹介採用制度

現在当社で働いている社員に人材を紹介・推薦してもらう「社員紹介採用制度」があり、就職希望者にとっては、社内環境をよく知る社員から事前にいるいろいろな話が聞けること、そして自分の能力やスキルに合った企業が判断しやすいメリットがあります。また、当社にとっても企業文化にマッチした人材の採用や定着率の向上が望めます。

出産・育児・介護支援制度の充実

仕事と家庭と社会の適正なバランスを図るために、育児・介護休業法に基づいた育児休業制度をはじめ、介護休業制度、子どもの看護休暇、小学4年生までの子どもを持つ社員を対象にした所定労働時間を最大3時間短縮する育児短時間勤務制度を整えています。さらに、必要に応じて所定外労働時間の免除や育児のための時差出勤制度も設け、両立を支援しています。また、社員向けポータルサイトには「出産・育児のためのカンガルーガイドブック」を掲載して制度の周知を進めています。



副業認可制度

多様な人材が活躍できる職場の形成と労働生産性の向上を図ることを目的に、一定のルール内での副業が認められています。これにより、自身のアイデアや技術を社外で活用することで、スキルの更なる向上と、社外の視点を取り入れ、当社の新しい価値の創造に繋げることが期待されています。



多様な育成制度

時代の変化にも対応できる高度な専門能力の取得を目的に、2011年から「グローバル人材育成制度」が設けられました。働きながら取り組める「MBAコース」、「語学コース」、「海外研修コース」の3コースがあります。さらに通信教育費の一部を負担するなど、自己啓発や各種資格の取得を会社として奨励しています。

また、毎年年初に開催される全社会議「START UP MEETING」は、若手社員が準備メンバーとなり、会社への提言を盛り込んだコンセプトの設定から各部門との調整、当日の運営までのすべてを担い、若手の育成や部署間のコミュニケーションの場としても活用されています。

テレワークの推進

新型コロナウイルスを機に多様な働き方の実現へ向け、テレワーク（在宅勤務）を推進しています。会社のPCやタブレットを持ち帰り、自宅のインターネット回線経由で社内システムやグルー

プウェアを利用することができ、WEB会議の活用も進んだことで、仕事の質の向上、プライベート時間の充実も図られています。



テレワーク

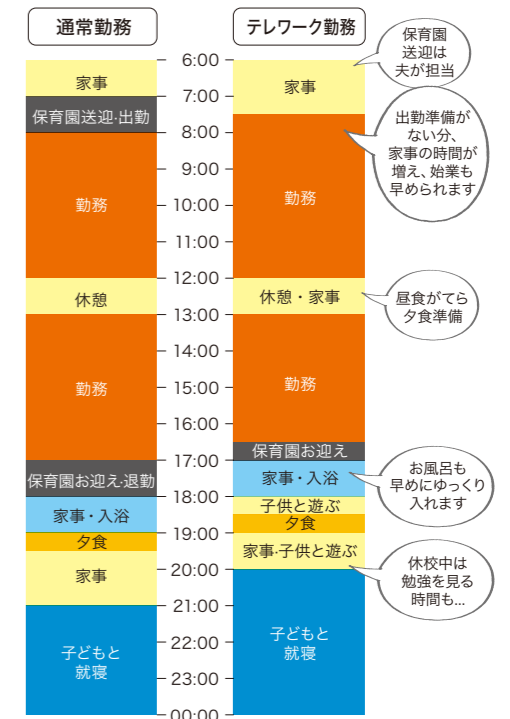
テレワークで、子どもと過ごす時間が増えました。



営業企画部 営業企画課 柴田 陸月さん

コロナ禍の状況でテレワークへの取り組みが深まり、私もこの制度を活用しています。とくに小学校が休校中の期間は、子どもたちのそばにいられてとても助かりました。

子どもがいる中で家でちゃんと仕事ができるか少し心配でしたが、私が働いている時間帯は小学生の子どもたちは家庭学習、末っ子は保育園や親にも協力してもらうことでカバーできています。テレワークは、メールや電話でのコミュニケーションばかりで当初はとまどうところもありましたが、時間配分や効率化の面で仕事の改善につながることがありました。通勤時間がないので朝の家事を済ませるとすぐ始業でき、1日の生活ペースが全体に前倒しされて、ゆとりができました。



副業認可制度



ベンディング・リテール 営業本部 法人営業部 法人一課 山崎 良太さん

自然ガイドの副業は、環境問題を考えるきっかけにもなります。

私は副業としてSUP（スタンドアップパドルボード）を使ったアウトドアガイドをしています。子どものころからアウトドアが大好きで、北海道という恵まれたフィールドでたくさんの遊びを体験してきました。そしてこのすばらしい環境を、暮らしている北海道民にももっと知ってほしいと思うようになりました。副業認可制度ができて、「会社員というベースがありながら、天気や風の条件が整った時にガイドができるなんて素晴らしい」と思い、制度の利用を始めました。

アウトドアガイドを仕事にすることでさまざまな業種の方と話ができて、知識や人脈も豊かになって視野が広がりました。さらに当社でも取り

組んでいるSDGsや環境活動に関して、現場で実行している個人や団体とも交流ができています。私のそうしたリソースをこれから会社のために活用していきたいです。

